

全建発第4-052号
令和4年 6月 7日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公印省略)

令和4年度 実地研修会（立山カルデラ）の開催について

謹啓 本会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、標記実地研修会を別紙のとおり、開催いたします。

本実地研修会（立山カルデラ）では、一般開放していない立山カルデラ内の多くの砂防施設を見学するとともに、その機能や保全について学ぶことを目的としています。

つきましては、貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。 謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 戸村、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com
--

全建発第4-053号
令和4年 6月 7日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石久和
(公印省略)

令和4年度 実地研修会（立山カルデラ）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本会では、建設技術講習会（10開催/年）と実地研修会（5コース/年）を実施しており、建設技術講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるための i-Construction の推進に向けた取り組みなど、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしています。また、実地研修会では、立山カルデラ、明石海峡大橋など、一般に視察が困難な現場等を少人数で視察することとしています。

これらの講習会・研修会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

本実地研修会（立山カルデラ）では、一般開放していない立山カルデラ内の多くの砂防施設を見学するとともに、その機能や保全について学ぶことを目的としています。

つきましては、本実地研修会を研修の場として活用されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 戸村、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com
--

令和4年度 実地研修会（立山カルデラ）現場研修事業の概要



1 立山カルデラ砂防博物館

立山カルデラは、火山活動と浸食作用による独特の自然をもつ日本でも有数の大規模崩壊地であり、立山の自然史を解くために重要な地域でもあります。また、立山カルデラは、多量の崩壊土砂が残留し常願寺川流域に度重なる土砂災害をもたらしてきたため、富山平野を守るために100年以上も前から日本でも屈指の砂防事業が続けられている地でもあります。当博物館は、「立山カルデラの自然と歴史」及び「砂防」の二つのテーマを「知られざるもうひとつの立山」と位置づけ、博物館活動をとおして、立山カルデラにおける人と自然の関わりを広く紹介することを目的としています。



2 立山砂防トロッコ（立山砂防工事用軌道）

立山砂防のトロッコは、砂防工事の人員と物資を最前線の工事現場である立山カルデラに輸送する最適かつ先端的な方法として、大正15年に発案・計画されたもので、難工事の末、千寿ヶ原から白岩までの間、インクラインをはさんで昭和6年に開通しました。以来、急峻・急傾斜の悪条件の中、さらに、落石・土石流・雪崩等の被害に遭いながらも先人達のたゆまぬ努力により維持され、砂防事業に関わる人員・物資の輸送の大動脈として今日に至っています。



このように大規模な工事用の施設が長期間保たれているシステムは全国的にもなく、また、連続18段ものスイッチバックは世界でも類をみないもので、立山砂防のトロッコの大きな特徴のひとつとなっています。

軌道を用いるトロッコは、重量物を大量かつ安全確実に輸送できる点で自動車輸送に優れる利点を持っており、人員と資材の輸送のため、また、工事期間中を立山カルデラ内で暮らす人々の生活物資輸送路として、立山の砂防にとって不可欠なものとなっています。

3 白岩砂防堰堤

(砂防計画の立案)

大正15年に常願寺川に於いて国による直轄砂防工事が始まり、初代立山砂防事務所長となった赤木正雄は、「常願寺川の砂防工事でもっとも重要な問題は、白岩砂防堰堤の施工場所にある」と考えました。白岩はその名の通り、白い岩盤（花崗岩、花崗閃緑岩）が大きく露出している場所であり、赤木はここを、砂防工事の基点と位置づけたのです。

そのため赤木は約1ヶ月間ほとんど毎日白岩砂防堰堤建設箇所の調査を行い、そのあとで常願寺川全般の砂防計画を立てたのです。そして多くの歳月と費用を投じ、昭和14年（1939）に白岩砂防堰堤は完成し、その後も順次副堰堤などが整備されました。

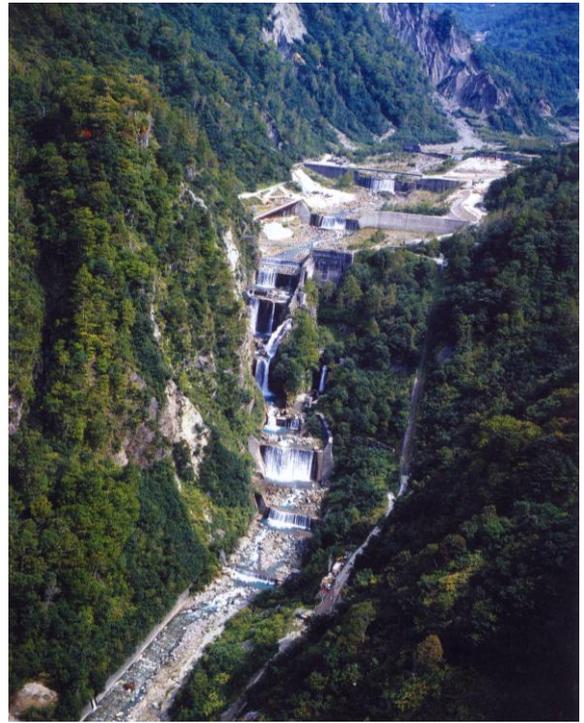
(日本一の高さをほこる砂防堰堤)

白岩砂防堰堤は高さ63mの主堰堤と7基の副堰堤をあわせた偉容を誇っています。

貯砂量も大きい白岩砂防堰堤は、土砂調節量も大きく、昭和44年の大災害のときもその効果を発揮しました。

こうして常願寺川の上流に大量にある不安定土砂を抑える基幹となるのが、白岩砂防堰堤の仕事です。

富山県が発展して氾濫区域での資産の集積も増えている今、基幹堰堤としての白岩砂防堰堤の重要性はますます高くなっています。白岩砂防堰堤誕生以来50年以上の年月を経て、平成10年（1998）に右岸部の岩盤補強工事に着手し、平成17年に竣工しました。平成18年度より、左岸側の補強対策を実施しています。

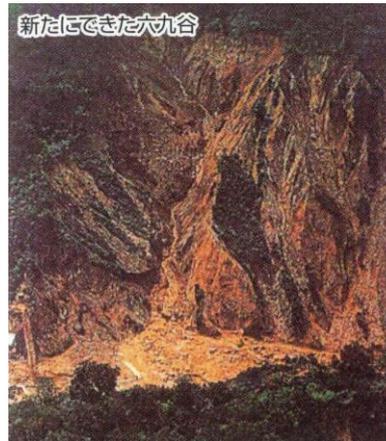


4 六九谷堰堤群

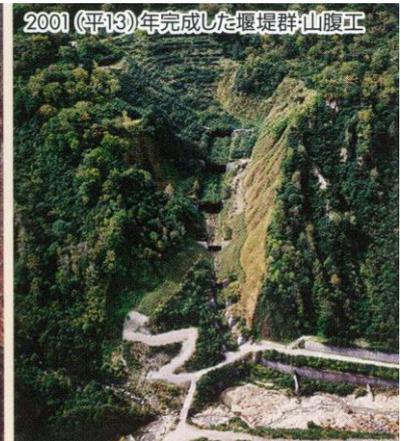
六九谷は多枝原谷の左支川で、湯川と多枝原谷の合流点から上流500m、新谷の多枝原谷への合流点直下流に位置しています。六九谷の名は昭和44年（1969）の集中豪雨により約15万 m^3 の大崩壊が起き、新しい谷が形成されたので、発生年の2文字から「六九谷」と名付けられました。六九谷の砂防堰堤及び床固工群は昭和48年に着工し、63年に完成しました。

六九谷は崩壊後も右岸側の山腹斜面から地下水が湧き出しており、地質的にも軟弱な層が多く見られ、今後の崩壊防止のため現地に適した鋼製砂防堰堤5基、

鋼製床固工4基を施工しました。鋼製ダム構造は基礎部と袖部をコンクリート構造とし、水通部を鋼製スクリーンとするもので、ダム上流部は水通し高まで盛土し伏流水を排除しながら山脚固定を図ります。施工中も湧水や小さな土石流に遭いながら工事を施工しました。



新たにできた六九谷



2001(平成13)年完成した堰堤群山腹工

5 多枝原平

多枝原平は、常願寺川の水源部である立山カルデラ内、鳶山の直下に位置し、その崩壊土砂によって形成された台地です。この台地に流入する泥谷、多枝原谷、西谷、新谷などは土石流のおこりやすい溪流です。

多枝原平では各溪流に砂防堰堤群を建設するとともに、土石流が発生したとき多枝原平を遊砂空間として利用するため各基幹砂防堰堤を結ぶ約1.3kmの導流護岸堤や、土石流の流れる方向を制御する分散導流堤などを建設しています。



令和4年度 実地研修会（立山カルデラ）募集について ～砂防施設の機能と保全～

① 日程：

令和4年8月8日（月）

【聴講】（開場15:00～）15:30～17:00 富山県農協会館 8F 802会議室
〒930-0006 富山県富山市新総曲輪2番21号
TEL: 076-445-2051
（別紙「聴講会場及び現場研修集合場所案内図」参照）

・立山カルデラ ～砂防施設の機能と保全～ 国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所
所長 三輪 賢志 氏

令和4年8月9日（火）

【現場研修】（集合（乗車） 7:30～）07:50～17:45

- ・富山駅北貸切バス駐車場（7:50）出発
 - 立山カルデラ砂防博物館
 - 立山砂防トロッコ（立山砂防工事専用軌道）
 - 昼食（水谷平）
 - 白岩トンネル、白岩砂防堰堤、天涯の湯、六九谷展望台、多枝原展望台、湯川12号砂防堰堤、他
 - 本宮砂防堰堤
 - 富山駅（17:45）着後解散

〈雨天コース（常願寺川流域視察コース）〉

【現場研修】（集合（乗車） 7:30～）07:50～16:30

- ・富山駅北貸切バス駐車場（7:50）出発
 - 立山カルデラ砂防博物館
 - 立山大橋
 - 昼食（立山町）
 - 富山地区広域圏クリーンセンター展望室
 - 巨大水制（ピストル水制）／大場の転石／霞堤
 - 富山駅（16:30）着後解散
 - 工事用軌道車両基地
 - 本宮砂防堰堤
 - 上滝床固
 - 佐々堤（常西用水）

② 募集人数：18名 ※中型バス2台（利用バス会社 加越能鉄道）

※最少実施人数 16名

③ 旅行代金：一般（非会員）…………… 35,800円（税込み）

（研修料） 正会員・特別会員・賛助会員 …… 32,800円（〃）

一般／会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

研修料は、1～2日目の費用です。斡旋宿舍の宿泊料は含みません。

現場研修時の昼食代は含みません（希望者に斡旋しています）。

④ 申込方法：申込書に必要事項を記入し、メールにて西鉄旅行（株）にお申込み下さい。

申込者数が募集定員以内の場合、参加できる旨をご通知します。

申込者数が募集定員を超えた場合、（一社）全日本建設技術協会にて選考しその結果をご通知します。

選考の通知は、7月19日頃を予定しています。

旅行代金（研修料）の振込みは、選考結果の通知後にお願いします。

<個人情報の取り扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に実地研修会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

- ⑤ 申込締切日：令和4年7月11日（月）正午まで（必着）
（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）
- ⑥ 申込先：西鉄旅行（株）東京団体支店 Mail kensyu1@zenken.com
申込のお問合せ 全建担当デスク TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328
- ⑦ 送金先：みずほ銀行 京橋支店 普通 1227472 ニシテツリョコウ（カブ）
- ⑧ 変更・取消し：申し込みの変更又は取消しが生じた場合、申込用紙に変更箇所がわかるように記入し、メールタイトルに「変更」又は「取消」と明記の上、⑥の申込先宛にメールで送付して下さい。なお、取消しの場合には、取消日に応じて下記の取消料が発生します。
※電話での変更・取消しは受付できません。

【取消料】

取消日	取消料
20日前～8日前	研修料の 20%
7日前～前々日	研修料の 30%
前日	研修料の 40%
当日	研修料の 50%
無連絡不参加及び開始後	研修料の 100%

- ⑨ 添乗員：（一社）全日本建設技術協会 事務局員と西鉄旅行（株）添乗員が同行します。
- ⑩ 新型コロナウイルス感染症への対応：
新型コロナウイルス感染症への対策として聴講及び現場研修を通常より少ない募集人数といたします。
新型コロナウイルス感染拡大防止の対応（募集人数等）については、「令和4年度実地研修会（立山カルデラ）における新型コロナウイルス感染症への対応について」をご参照ください。
- ⑩ その他：研修料の領収書は、入金を確認し、研修終了後に送付いたします。視察資料は当日聴講会で、参加証は研修終了時にお渡しいたします。
参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。
事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。
詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込み下さい。
- ⑫ 視察企画：（一社）全日本建設技術協会 東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル
視察のお問合せ 事業課 戸村、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640
MAIL kensyu@zenken.com
- ⑬ 旅行企画実施：西鉄旅行（株）東京団体支店 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス
観光庁長官登録旅行業第579号 TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328
（一社）日本旅行協会正会員 MAIL zenken@travel.nnr.co.jp

聴講会場及び現場研修集合場所案内図



令和4年度実地研修会（立山カルデラ）参加者の条件及び注意事項

※この実地研修会は、国内有数の崩壊地であり、現在も大規模な砂防工事が行われている現場です。視察には危険を伴う場合があることをあらかじめご承知のうえご参加ください。

参加者の条件及び注意事項

- ・階段や坂道の2km程度の歩行ができ、林道のバス乗車に耐えられることが必要です。
- ・係員の指示に従い、自由行動はしないこと。
- ・主催者の用意するヘルメットを着用すること。
- ・酒類の持ち込みや酒気を帯びての参加はしないこと。
- ・バスの中では、喫煙しないこと。
- ・カルデラ内は中部山岳国立公園内です。自然を愛するもののモラルとして動植物の採取や意図的な持ち込みはしないこと。
- ・ゴミ、空き缶、吸い殻等は、各自で持ち帰ること。
- ・野外活動に適した服装、履物（ズックまたは軽登山靴）で参加すること。
- ・雨具（カサは不可）、昼食及び飲料水、常備薬、健康保険証またはその写しを持参すること。
- ・ハチ刺され対策のため黒い服装、香りの強い香水は避けて下さい。
- ・ハチ毒での急激なアレルギー症状が出る方は参加を遠慮していただくか、医師の処方を受けてアドレナリン注射を携行して下さい。
- ・視察には小型バスを使用しますのでバスのトランクルームが小さくなります。大きなキャスターバック等の荷物は、宿泊ホテル又は駅のコインロッカーに預けて視察に参加して下さい。

令和4年度実地研修会（立山カルデラ）における
新型コロナウイルス感染症への対応について

令和 4年 6月 7日
（一社）全日本建設技術協会

このたびの令和4年度実地研修会（立山カルデラ）は、ソーシャルディスタンスに配慮した方法（会場収容人数48名のところ18名、中型バス乗車定員27名／台のところ9名／台×2班編成）として、新型コロナウイルス感染症における必要な対策を講じた上で実施することといたしました。

なお、今後の社会情勢等により、実施方法の変更や中止となる場合があります。
その場合には、本会ホームページにて発表するとともに各地方協会等へメールにてお知らせいたします。

令和4年度実地研修会（立山カルデラ）に参加される方は、新型コロナウイルス感染予防にご協力下さい。

【実地研修会（全体）での感染予防対応等】

1. 会場等で検温を実施いたしますのでご協力をお願いします。体温が37.5度以上の場合は、参加をご遠慮いただくことをご了承ください。
2. マスクの着用をお願いします。なお、スタッフもマスク等を着用させていただきます。
3. 発熱や咳など体調不良の場合はご参加を見合わせてください。
4. 実地研修会終了後、14日以内に感染および感染が疑われる症状が発生した場合は、速やかに全建事務局までご連絡ください。感染者または濃厚接触者と分かった場合は、保健衛生局等への情報提供にご了承ください。保健衛生局等からの聞き取りなどへの協力および要請に対応していただきますようお願いいたします。

【聴講（会場）での感染予防対応等】

1. 受講者の間隔を十分に確保したゆとりのある座席配置を行います。
2. 当日の受付は、受講者の皆様と会場スタッフとの接触を極力減らし、スムーズに行えるようにいたします。
3. 講演中でも換気を行う場合がありますので、ご協力をお願いします。
4. 適宜、館内の消毒液や洗面所の液体石鹸等による手指消毒にもご協力ください。
5. ドアノブや使用機材等の消毒を行います。

【現場研修（バス等）での感染予防対応等】

1. バス車内・視察現場等では、参加者の間隔を確保したゆとりのある配席等を行います。
2. バス車内・視察現場等では、参加の皆様と参加スタッフとの接触を極力減らし、スムーズに行えるようにいたします。
3. バス車内は、外気換気モードによるエアコンの使用を基本とし、バス車内換気能力を参加者へご案内します。
4. バス乗降時には、消毒液を用意しますので手指の消毒のご協力をお願いします。
5. バス車内の手すりや使用機材等の消毒を行います。

幹旋宿泊のご案内

- ① 宿泊幹旋：参加者には富山市内のホテルを下記のとおり幹旋いたします。
 宿泊料金につきましては、事前に西鉄旅行に全額お支払いください。
- ② 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入しお申し込み下さい。
 選考にもれた場合、宿泊申込みは自動的にキャンセルになります。
- ③ 申込先：西鉄旅行（株）東京団体支店 Mail kensyu1@zenken.com
 申込のお問合せ 全建担当デスク TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328
 （営業時間 9:30～18:00 休業日 土日祝）
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。
- ④ 取り消しについて：

宿泊日の3日前～	宿泊日前日	宿泊当日 及び無連絡不泊
宿泊代金の20%	宿泊代金の50%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。

取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

⑤ 幹旋する宿舎名、宿泊料

令和4年8月8日(月)

(1泊朝食付、サービス料・消費税込み)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	幹旋人数	宿泊料金
富山地鉄ホテル 富山市桜町1-1-1 (JR富山駅直結) TEL:025-240-2111	シングル	18人	8,000円

※申込締切後、参加者が決定次第、西鉄旅行（株）より「宿泊案内」が送付されます。

禁煙ルームでの手配となります。

喫煙ルームをご希望の方は、申込書にご記入ください、ただし先着順となります。

【幹旋ホテル及び現場研修集合場所の案内図】



昼食（弁当）の斡旋及び予約申込案内

昼食・お茶の斡旋：希望者は昼食（弁当）を下記のとおり斡旋いたします。
なお、代金につきましては、聴講会場受付で集金します。

昼食（弁当 ※お茶付き）	代金（消費税含）
<p data-bbox="231 436 454 470">商品イメージ</p> 	1, 100円